

平成 21 年度 (第 40 回)  
兵庫県社会人都市対抗サッカー大会の記録  
神戸市代表チーム

シード初戦、神戸市代表は姫路代表に 2 対 0 で快勝！

【試合日時】平成 21 年 9 月 21 日 (月祝) 15 時 00 分 kickoff (40 分ハーフ) <但馬ドーム芝 G>

【試合結果】2 : 0 (前半 2 : 0 / 後半 0 : 0)

【得点者(アシスト)】 法橋 (越智) 法橋 (寺田)

スタメン				試合終了時			
11	9			18	9		
藤井	法橋			和田	法橋		
7			14	10			17
菊池			黒田	高須			寺田
	8	10		8	6		
	藤本	高須		藤本	武田		
2	5	4	17	3	5	4	16
越智	中村	酒井	寺田	川井	中村	酒井	木尾
		21				21	
		荒谷				荒谷	

【感想】シルバーウィークと事故が重なり予想外の大渋滞でアップもできない最悪の状態での試合開始となったが、今大会に向け 8 月後半から毎週練習試合を重ね、昨年度からの神戸代表の基本戦術である “ リスクを侵してでもサイド DF によるサイド攻撃で得点して勝ちに行く ” スタイルを繰り返し練習してきた結果、開始早々その左サイド攻撃からの低くて速いクロスが FW がドンピシャヘッドで先制。これで勢いに乗った神戸は前半半ばにも今度は右からの同じく低くて速いクロスが FW が足で合わせて追加点を奪った。

前後半通して完全に神戸ペースで試合が進み、カウンターによる逆襲は少しあったが、崩されることなく危ない場面はほとんど無かった。

この要因として、サイド DF が上がったスペースをセンター DF やボランチがスライドしてカバーリングできており守備が安定していたこと、神戸の選手は最低でも 2 名で相手選手を囲みそこから苦し紛れに出るパスを 3 人目の選手が絶えず狙っていたこと、自陣から相手陣内のペナルティーエリアまでは確実にパス交換しながらビルドアップできていたこと、そして失敗した後は必ず自分でボールを取り返しに行けていたことが挙げられる。

逆に反省点としては、中盤での長いサイドチェンジのボールが何度か相手にカットされ不要なカウンター攻撃を許してしまったことと、後半相手からのプレッシャーが無い場面でも DF から中盤を経由せず FW へイージーな縦パスを放りこんだことで、ボールを支配しているにも関わらず相手守備陣を崩すことができず後半得点できなかったことである。

この点は次節 (準決勝戦) で修正していきたい。

【目標】雑草魂溢れるこのチームで2年連続優勝を果たす！

【ギャラリー】

～選手・スタッフが一致団結したチームで雰囲気は常に明るい！～



【記録】通算戦績 1勝0敗、得点2、失点0 <H21.9.22 現在>

得点		アシスト	
2得点	法橋	1アシスト	越智、寺田

以上